

自分の命は自分で守る、知っておきたい事

※自助・共助と心意り

災害とは

- | | | |
|------------------|--------|-------------|
| ①大雨・土砂災害 | 気象情報注視 | 一部土砂災害指定区域 |
| ②地震倒壊（土砂災害、富士噴火） | 予報なし | 南海トラフ、相模トラフ |
| ③火災 | 〃 | |
| ④富士山噴火 | 〃 | 裾野市は警戒地域 |

※第一次避難場所は町内会館です。

避難場所

- ①住民の判断 □ 通報 班長又自主防災会又町内会役員
※危険と思ったら

町内会館解放（開錠）

- ②“警報発令”時 □ 自主防災委員会
※NHKテレビ気象情報（dデーター）で裾野市に発令時。

※千福が丘は近隣地区への交通の車道が2本で、孤立が心配される。

住民の備え

- ①食料品の備蓄7日分（含む服用薬、ペットフード・ゲージ、他）
- ②避難時非常持ち出し □ 4人家族の例 個人別リュック
（対象物は各家庭の事情で決める）
- ③家具を固定し家具の倒壊を防止する。
- ④家庭用消火器の設置。（火災報知器の設置）
- ⑤最寄の街頭消火器及び消火栓の場所確認。
- ⑥情報収集
（携帯まもメールの登録、広報無線機の設置、テレビ）



とりあえずの水、食料
衛生用品など

心肺蘇生

- ① 傷病者が居たら（意識が無い） □ ② 119番へ通報
- ③心肺蘇生の手順遵守（防災訓練の機会などで練習すると良い）

※AEDの手配

- ④AEDの手配 設置場所

a. 町内会館	会館使用時即使用可
b. 千福が丘小学校	開校日即使用可
c. ひかり幼稚園	開園日即使用可
- ⑤省略

自主防災

- ①災害が発生すれば、
町内会長を中心に災害本部を町内会館に立ち上げる。
- ②避難所の開設
※但し運営は避難者が話し合っていく。（助け合いの心）
- ③飲食料の備蓄（800食＝100人で3日相当、水900ℓ）
- ④行政との連携